

# 栃木県における地域再犯防止推進モデル事業の 概要及び成果

地方公共団体における再犯防止の取組を促進するための協議会

栃木県保健福祉部薬務課

令和3（2021）年6月18日

# 事業概要

---

事業名 : とちぎ薬物再犯防止サポート事業

(法務省委託モデル事業)

事業期間 : 平成30年度～令和2年度 (3年間)

対象者 : 刑務所等刑事施設から満期出所し、帰住地が栃木県の者

仮釈放後の保護観察が終了した者

目的 : 上記対象者に対して、住居、就労、生活福祉など総合的な支援を行うとともに、回復支援

プログラム等を提供することで、刑事施設への再入率を減少させる。

(目標 : モデル事業実施期間中の再入率16%以下)

実施内容 : 取組内容① ネットワーク構築事業

取組内容② 再犯防止総合支援事業

取組内容③ 家族支援事業

# 取組内容①：ネットワーク構築事業

---

## 事業の概要

- 各関係機関及び民間団体等で構成されたネットワークを構築し、本事業が円滑に実施できるよう推進会議を定期的実施した。
- 「薬物依存症」に関する正しい理解の促進が重要であることから、各関係機関向けの薬物依存症に関する研修会を実施した。

## 結果及び考察

取組内容	項目	目標値	結果	達成の状況
モデル事業の目標	事業参加者の再入率	16%以下	0%	○
取組内容① ネットワーク構築事業	薬物再犯防止推進会議	4回	4回	○
	薬物依存症対策研修会	5回	5回	○

- 全ての項目で、目標値を満たした。
- 事業参加者の刑事施設への再入率は0%であり、一定の効果が得られた。  
(薬物事犯の2年以内再入率は17%)
- 関係機関と顔の見える関係を構築することができた。  
今後も連携した取組の可能性について検討する必要がある。

## 取組内容②：再犯防止総合支援事業

---

### 事業の概要

- 事業対象者に対し、認知行動療法を活用した再犯防止教育プログラムを実施した。  
(1クール12回)
- 就労支援、住居支援及び生活福祉支援等の再犯防止にむけた総合的支援を実施した。
- 構築したネットワークを活用し、円滑な事業の実施を図るとともに、薬物再犯防止コーディネーターを介した伴走型の支援を実施した。

# 結果

取組内容	項目	目標値	結果	達成の状況
取組内容② 再犯防止総合支援事業	プログラム参加人数	40人	9人	×
	プログラム実施回数	126回	31回	×
	プログラム参加率	100%	20%	×
	住居支援実施件数	16件	1件	×
	就労支援件数	10件	0件	×
	生活福祉支援数	17件	0件	×

- 全ての項目で、目標値を下回る結果であった。
- 住居、就労、生活福祉について、既に住居や就労先を持っている事業対象者が多く、支援を行うに至らなかった。

# 結果

表 年度別参加者数及び紹介元

	本人（人）			
	男女別		紹介元別	
	男	女	刑事 施設	保護 観察所
H30年度	0	1	0	1
R1年度	3	4	1	6
R2年度	0	1	1	0
計	3	6	2	7

- コーディネート（対象者への面談、相談等）は随時実施した。
- 上表に示す参加者以外に保護観察所から6名の紹介があった。  
→プログラムの残り回数を考慮し、初犯者向け既存事業へ申込みを行った。
- 上表に示す参加者1名について、本事業終了後初犯者向け既存事業へ申込みを行った。

# 結果

## ○回復プログラムの詳細結果

番号	性別	年齢	入所回数	申込日	受講回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
再犯1号	女	30代	3	H31.3.27	7	H31.4.23	R1.5.22	R1.6.5	R1.6.26	R1.7.2	R1.8.28	R2.3.25				
						27日	29日	14日	21日	6日	57日	210日	日	日	日	日
再犯2号	女	30代	1	R1.6.21	1	R1.10.17										
						118日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
再犯3号	女	50代	3	R1.7.18	4	R1.9.26	R1.10.24	R1.11.14	R1.11.28							
						70日	28日	21日	14日	日	日	日	日	日	日	日
再犯4号	女	40代	1	R1.7.25	3	R1.8.22	R1.9.26	R1.10.10								
						28日	35日	14日	日	日	日	日	日	日	日	日
再犯5号	男	50代	1	R1.9.10	0	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
再犯6号	男	50代	2	R1.10.9	0	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
再犯7号	女	50代	3	R2.1.23	0	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
再乱8号	男	50代	4	R2.2.21	6	R2.3.12	R2.3.26	R2.7.4	R2.7.30	R2.9.24	R2.12.17					
						20日	14日	100日	26日	56日	84日	日	日	日	日	日
再乱9号	女	50代	2	R2.6.2	11	R2.7.22	R2.8.5	R2.8.26	R2.9.2	R2.9.23	R2.10.7	R2.10.27	R2.11.4	R2.12.2	R2.12.9	R2.12.23
						50日	14日	21日	7日	21日	14日	20日	8日	28日	7日	14日

# 考察

---

- 再犯者の事業への参加が少なかった理由として、以下の事項が考えられた。
  - 栃木県に帰住する薬物事犯の満期釈放者が少なかった
  - その他再犯者本人に関すること
    - 行政やダルクなどにつながることの必要性を理解していない
    - 刑務所や保護観察所で教育プログラムを受けたので今後は受ける必要がないと思っている
    - 出所後等も監視される気持ちになる
    - 依存症者が集まるプログラムへ参加することに抵抗がある
    - 尿検査に抵抗がある
- 再犯者が、社会に出てからも教育プログラム等につながり続けることの重要性や、薬物依存症からの回復には長い期間を要することを、理解する必要があり、一方、支援側も再犯者がこれらを理解できるよう、説明の方法等を改良する必要があると考えられた。

# 考察

---

- 継続参加のためには、モチベーションの維持が課題と考えられる。今回、参加者が少なく、講師とマンツーマンになりがちであったため、グループミーティングの効果や回復者とのつながりを感じることができず、モチベーションの維持が困難となり、脱落するケースがみられた。一方、プログラムに継続して参加した者は、家族や友人、施設のサポートを受けられる環境に身を置いていたため、モチベーションを維持することができていたと思われる。
- 継続して参加した2名について、1名は今後もプログラムに参加する意志を確認することができ、もう1名は、本プログラムを修了し、住居、就労を確保できたことで自立生活をスタートすることができた。本事業の再犯防止総合支援事業が一定の効果を示したと考えられた。

## 取組内容③：家族支援事業

---

### 事業の概要

- 薬物依存症者の家族に対し、CRAFTを活用したグループミーティング等を提供することで、薬物依存症に関する正しい知識及び対処方法を習得させ、家族の精神的な支援を実施した。  
(1クール8回)
- 家族アドバイザーを設置することで、それぞれの家族が抱える様々な悩み等に対し、よりきめ細かい対応を行い、家族の回復を支援した。

# 結果

表 年度別新規参加者数

	組
H30年度	
R1年度	5
R2年度	
計	5

表 家族会参加状況

	参加回数	参加率
家族 1	1	5%
家族 2	18	100%
家族 3	5	33%
家族 4	12	100%
家族 5	1	9%

取組内容	項目	目標値	結果	達成の状況
取組内容③ 家族支援事業	家族会参加人数	80人	7人	×
	家族会参加率	80%	50%	△

- 参加人数は目標値を下回り、参加率はやや下回った（目標値の50%以上）。

# 結果

---

- 参加家族 3 組からアンケートを回収した。結果は以下のとおり。
  - 1 家族会への参加による自分の気持ちの変化について
    - 楽になった。安心感が出てきた。
    - 世間体を気にして社会の価値観を押しつけてきたが、本人の価値観を大切にするようになった。
  - 2 家族会の内容で実践していることについて
    - 本人の価値観を尊重し、自分の価値観を押しつけないこと。
  - 3 事業終了後の家族会について
    - 事業終了後も継続して参加したい。

(理由) 講師の指導は日々の生活の中で忘れてしまいがちなので、定期的に学び続けたい。

# 考察

---

- 家族会参加者が少なかった理由として、周知の不足が考えられる。家族への周知は、関係機関等の協力を得ながら、家族の集まる場所や家族と接点のある保護司等を通じて実施することで参加を促すきっかけとなる可能性が高いと思われる。

# 今後の方針

---

## 1. 本人向け教育事業→初犯者向けの既存事業に統合

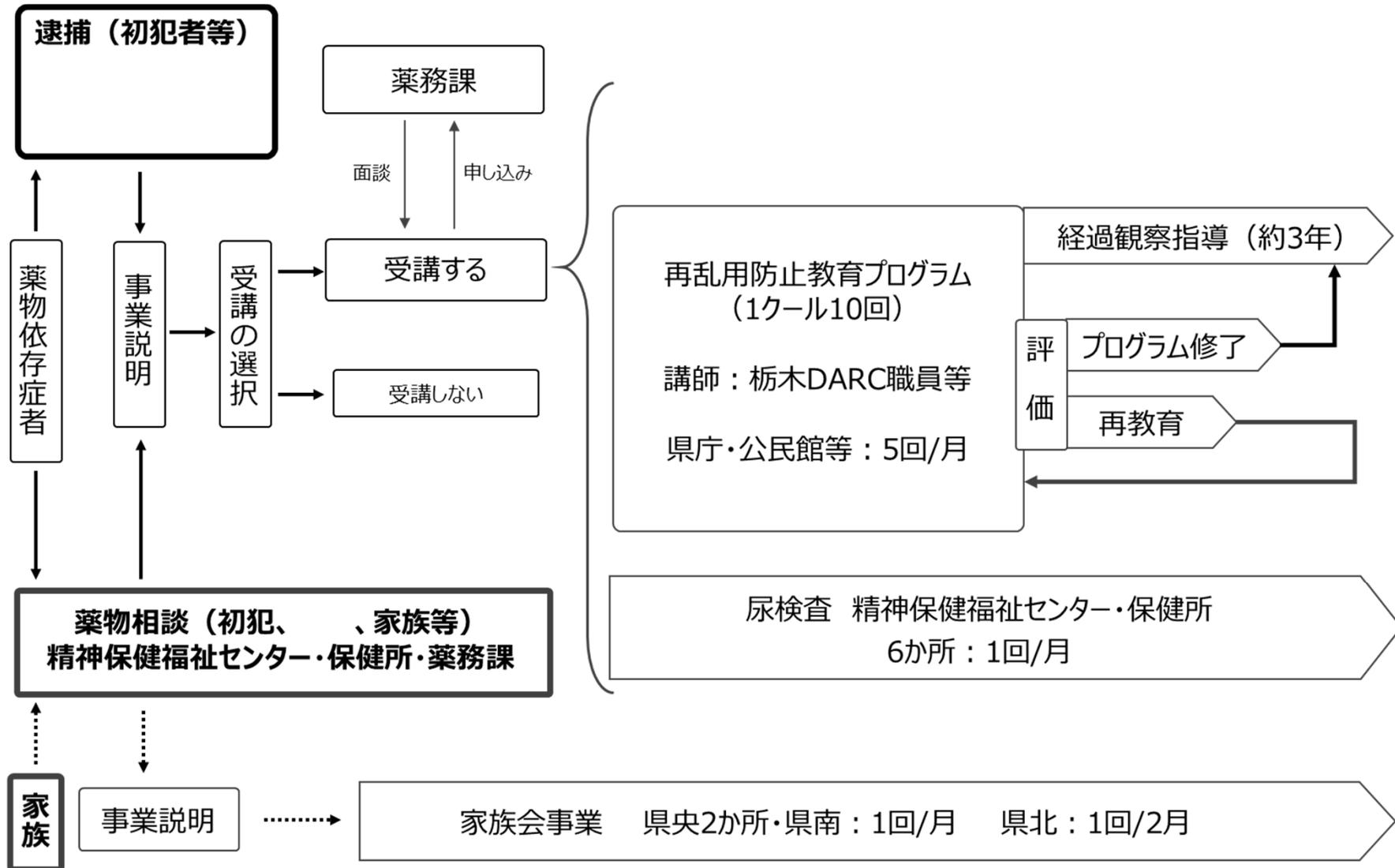
- ・矯正施設及び保護観察所との連携は継続させていただきたい。
- ・保健所等で受理した薬物相談において事業説明の対象とする。

## 2. 家族会事業→初犯者向けの既存事業に統合

## 3. 住居・就労・生活福祉支援→既存サービスの紹介、引継支援を実施

栃木県薬物依存症対策実施要綱等を改正し、R3.4.1から施行予定

# 薬物再乱用防止教育事業（既存事業）



# 薬物再乱用防止教育事業（令和3年度～）

